

血液・腫瘍内科

1. 概要

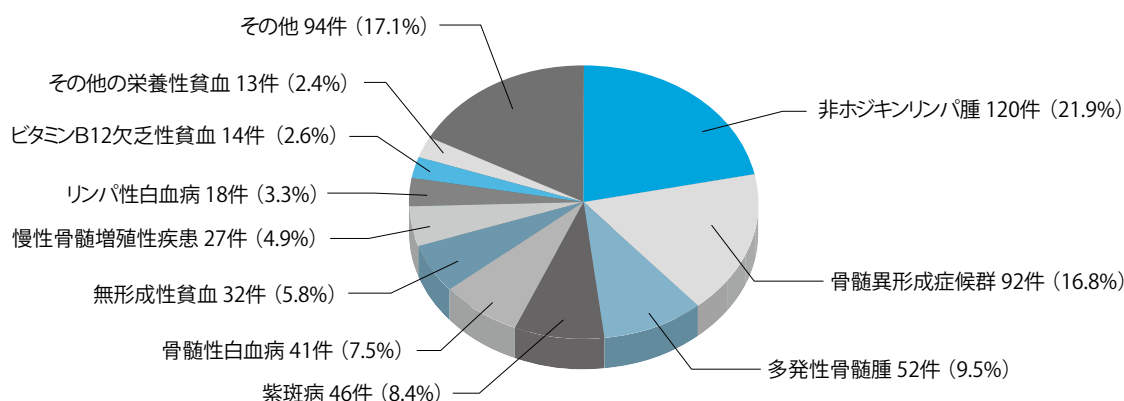
平成9年に開設し平成13年10月には病棟（西9階病棟）、外来（第6診）とも独立し現在に至る。患者は豊橋市内と近隣の診療施設から多数の患者の紹介を受けている。疾患は多彩であらゆる血液疾患に対応することが必要とされている。そのため現在は外来も火、水、木曜日については第6診、7診と二箇所に増設し対応している。血液悪性疾患については悪性リンパ腫が最も多く、その他、多発性骨髄腫、急性白血病、慢性骨髄性白血病が続いている。特に多発性骨髄腫、急性白血病においては全国レベルでも豊富な経験で知られている。

これまで自己末梢血幹細胞移植は常時行われてきた。2014年1月から新たにクリーンルーム4床増設し、近い将来に非血縁間での同種骨髄移植を当院で実施できる体制を確立することに重点を置いている。その結果、安定した医療を提供することで地域医療に貢献することを目標としている。

（第二部長 岩崎 年宏）

●疾患別頻度

総件数：549件



●感染症

病名	件数 (件)	病名	件数 (件)
敗血症	133	ヘルペス感染症	19
カンジタ症	71	ニューモシスチス症	21
真菌症	30	アスペルギルス症	18
サイトメガロウイルス病	20	計	312

●造血管細胞移植（末梢血管細胞移植）

種類	件数 (件)
自家移植	18
同種移植	2

学会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	食欲不振と浮腫にて発症したアミロイドーシスの1例	佐橋 里美	第35回東三医学会	2013/3/9
②	自然軽快したEBV-positive T-cell lymphoproliferative disorders of childhoodの1例	寺部 里美	第220回日本内科学会東海地方会	2013/6/9
③	Dose-escalation study of CPM in combination with BTZ and DEX (CBD) for relapsed/refractory MM	Satomi Terabe	第75回日本血液学会学術集会	2013/10/13

研究会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性 白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	第4回尾張白血セミナー	2013/1/17
2	当院におけるアミロイドーシス症例の 検討	佐橋 里美	第7回東海骨髄腫フォーラム 症例 検討会	2013/3/23
3	P h+A L L 213プロトコール作成進捗 状況	杉浦 勇	平成25年度 第1回合同班会議	2013/6/22
4	同胞間末梢血幹細胞移植後再発に対し て新規薬剤を用いた一例	小山 大輔	第8回東海骨髄腫フォーラム 症 例検討会	2013/9/28

座長・司会（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	杉浦 勇/「フィラデルフィア染色体陽性の急性・慢性白血病の治療の進歩」	岩崎 年宏	第32回 豊橋がん診療フォーラム	2013/5/16
2	Associate Professor Dept of Hematology, Sahlgrenska University Hospital, Ulf-Henrik Mellqvist, MD 「Changing Multiple Myeloma Treatment Paradigm in the New Agents Era」	杉浦 勇	Multiple Myeloma Meet the Specialist in Nagoya	2013/7/13
3	江南厚生病院 血液・腫瘍内科 立川 章太郎「CML LBCの1例」、ほか	寺部 里美	第39回名古屋血液レジデントカンファレンス	2013/7/19
4	成人ALL:症例	杉浦 勇	第75回日本血液学会学術集会	2013/10/11
5	Treatment goals and clinical outcomes in multiple myeloma	杉浦 勇	第9回東海骨髄腫フォーラム特別講演会	2013/11/18

講 演（医局）

<血液・腫瘍内科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	初発若年多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた治療戦略	杉浦 勇	Myeloma Seminar inMie	2013/1/10
2	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	熊本 Ph+ALL セミナー	2013/3/15
3	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	第3回Ph+Leukemia Expert Seminar	2013/3/29
4	「フィラデルフィア染色体陽性の急性・慢性白血病の治療の進歩」	杉浦 勇	第32回豊橋がん診療フォーラム	2013/5/16
5	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	第2回 Oita Leukemia Club	2013/5/31
6	Ph+ALLの治療戦略	杉浦 勇	第39回名古屋血液レジデントカンファレンス	2013/7/19
7	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	山口 Leukemia Seminar	2013/8/2
8	Philadelphia染色体陽性急性リンパ性白血病の新たな治療戦略	杉浦 勇	福島県血液疾患セミナー	2013/9/7

論文・著書（医局）

<血液・腫瘍内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び 共同研究者	雑誌名
①	食欲不振と浮腫にて発症したアミロイドーシスの1例(会議録/症例報告)	佐橋 里美	東三医学会誌 35号, 3-4頁 (2013. 03)